

「海岸保全施設における水門・陸閘等の維持管理マニュアル策定検討委員会」について

1. 設置趣旨

海岸保全施設の維持管理に関しては、平成 26 年 3 月に「海岸保全施設維持管理マニュアル」を改訂し、長寿命化計画に基づいた計画的な維持管理を推進しているところである。

海岸保全施設のうち水門・陸閘・樋門・樋管（以下、「水門・陸閘等」とする。）については、鋼構造部や機器部を有することから、海岸保全施設維持管理マニュアルの考え方に準拠しつつ、他の指針等を参考に維持管理を実施している。

水門・陸閘等は、津波・高潮時に施設の確実な閉鎖が求められるなど、堤防、護岸等の維持管理の方法に加えて、操作施設としての維持管理も求められる。

そのため、平成 28、29 年度に本委員会を設置し、他の指針等との整合性も図りつつ、点検・評価に関する事項や長寿命化計画に関する検討を行い、「海岸保全施設維持管理マニュアル～水門・陸閘等の点検・評価及び長寿命化計画の立案～（仮称）（以下、「水門・陸閘等維持管理マニュアル」とする）」を策定し、海岸管理者による水門・陸閘等の適切な維持管理を促進する。

2. 委員構成

委員構成は別紙の通りである。

3. スケジュール

平成 28 年度

第 1 回委員会（平成 28 年 12 月 12 日）

- ・委員会の設置趣旨及び検討スケジュール
- ・水門・陸閘等の設置状況及び維持管理における課題について
- ・水門・陸閘等維持管理マニュアルの全体構成について
- ・水門・陸閘等維持管理マニュアルの概要及び論点について
- ・今後の進め方について

第 2 回委員会（平成 29 年 3 月上旬頃）

- ・水門・陸閘等維持管理マニュアルの素案について

平成 29 年度

○委員会を 3 回程度開催し、平成 29 年度中に取りまとめ予定。

海岸保全施設における水門・陸閘等の維持管理マニュアル策定検討委員会
委員構成

区分	氏名	所属
委員長	横田 弘	北海道大学大学院 工学研究科 北方圏環境政策工学部門 教授
委員	岩波 光保	東京工業大学大学院 理工学研究科 土木工学専攻 教授
〃	佐藤 慎司	東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授
〃	水谷 法美	名古屋大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 教授
〃	桐 博英	(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 水利工学研究領域ユニット長
〃	佐伯 公康	(国研) 水産研究・教育機構 水産工学研究所 水産土木工学部 水産基盤グループ 主任研究員
〃	佐々木 隆	国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川構造物管理研究官
〃	加藤 史訓	国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 海岸研究室長
〃	鈴木 健之	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 沿岸防災研究室長
〃	加藤 絵万	(国研) 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 構造研究領域 構造研究グループ長
〃	宮崎 良一	静岡県交通基盤部 港湾局 漁港整備課長
〃	倉本 聡	広島県土木建築局 港湾漁港整備課長
〃	久米 正浩	徳島県県土整備部 河川整備課長
行政委員	東 真生	農林水産省 農村振興局 整備部 防災課長
〃	坂本 幸彦	農林水産省 水産庁 漁港漁場整備部 防災漁村課長
〃	内藤 正彦	国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部保全課 海岸室長
〃	村岡 猛	国土交通省 港湾局 海岸・防災課長

(敬称略)